

◆岡山大学法学部だより◆

※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生をはじめ、講読の登録をされた方、法学部に関連ある方等にお送りしています

第 173 号(2021 年 4 月 1 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

=====

法学部長の黒神直純です。いつもこの「法学部だより」をご愛読頂き、有難うございます。

さて、元法学部長で、岡山大学理事・副学長を務められた佐野寛先生が、この 3 月末でご退職されました。佐野先生が学部長のときに、この「法学部だより」は始まり、今日に至ります。佐野先生には、ご退職を記念して最後にご自身の思いのこもったこの「法学部だより」にメッセージを寄せて頂きました。ぜひ、ご一読くだされば幸いです。

なお、去る 3 月 30 日（火）に佐野先生の最終講義を開催いたしました。開催の様子は、下記法学部 HP をご覧ください。http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/news/news_id10149.html

また、下記リンクにて、動画配信も行っております。https://www.youtube.com/watch?v=_Xevn2Ixx7k

○退職のご挨拶

佐野 寛

この 3 月をもって岡山大学を退職することになりました。長きにわたってお世話になった同僚の先生方、事務職員の皆さん、そしていつまでも未熟な授業に付き合ってくださいました学生諸君に心からお礼を申し上げます。

岡山大学に赴任したのは昭和 61 年 4 月ですので、35 年間法学部に在籍したことになります。ただただ過ぎ去った時間は速いという思いが残りますが、これだけの期間を本学で過ごすことができたのも、この間に会ったすべての皆さんが魅力的で個性に溢れ、多くの刺激を与えてくださったからだと思われまます。何よりも、私を岡山大学に呼んでくださった丸岡松雄先生には学者としてのあり様を教えてくださいました。一本の論文を完成させるまでのそのストイックなまでの姿勢には凄味を感じるほどでした。民法の阿部浩二先生の多彩な人脈、教え子に対する深い愛情には、私の恩師である山田鏖一先生と通じる点があると思いました。国際法の中村道先生、刑法の江口三角先生、法哲学の植松秀雄先生、いずれも個性が輝いていて、これらの先生方と交わることによって、世間知らずであった自分が多少は成長できたのではないかと思います。こうしてお一人お一人の先生のお名前を挙げると、その顔が思い浮かび、思い出は尽きることがありません。

また、35 年の間に本当に大勢の学生の皆さんと接することができました。決して面倒見の良い教師ではありませんでしたが、今でも交流のある卒業生がいてくれることは教師冥利に尽きると言ってよいでしょう。今思うと、私が教えたことよりも、学生の皆さんから学んだことの方が多かった気がします。

そして、職員の皆さんには本当にお世話になりました。いろいろ無理を申し上げたことも少なくなかったかと思いますが、快く付き合ってくださいました方々が多かったように思います。

今回、ご無理を言って「法学部だより」に寄稿させていただくことにしました。「法学部だより」は、私が法学部長を務めていた2010年4月に創刊しました。岡大法学部のリアルをできるだけ多くの方々に知ってもらおうと思い立ち、メールマガジンの発行に踏み切りました。それが10年以上も続くとは思っていませんでしたが、歴代法学部長のご厚意と発行担当の法学部長秘書柏原さんのご協力でここまで継続できたものと思います。本当にありがとうございました。この企画も現在の黒神法学部長の発案で「学部長の部屋」という形でさらにバージョンアップし魅力的なものとなっています。法学部のリアルが様々な形で広がっていくことを期待しています。

4月からは、法学部の一ファンとして、岡大法学部を応援したいと思います。名残りは尽きませんが、法学部の発展を心からお祈りしています。

(2021年3月)